

と し さ い せ い せ い び け い か く
都市再生整備計画

かつらぎさんろくしゅうへん ち く
葛城山麓周辺地区

ならけん かつらぎし
奈良県葛城市

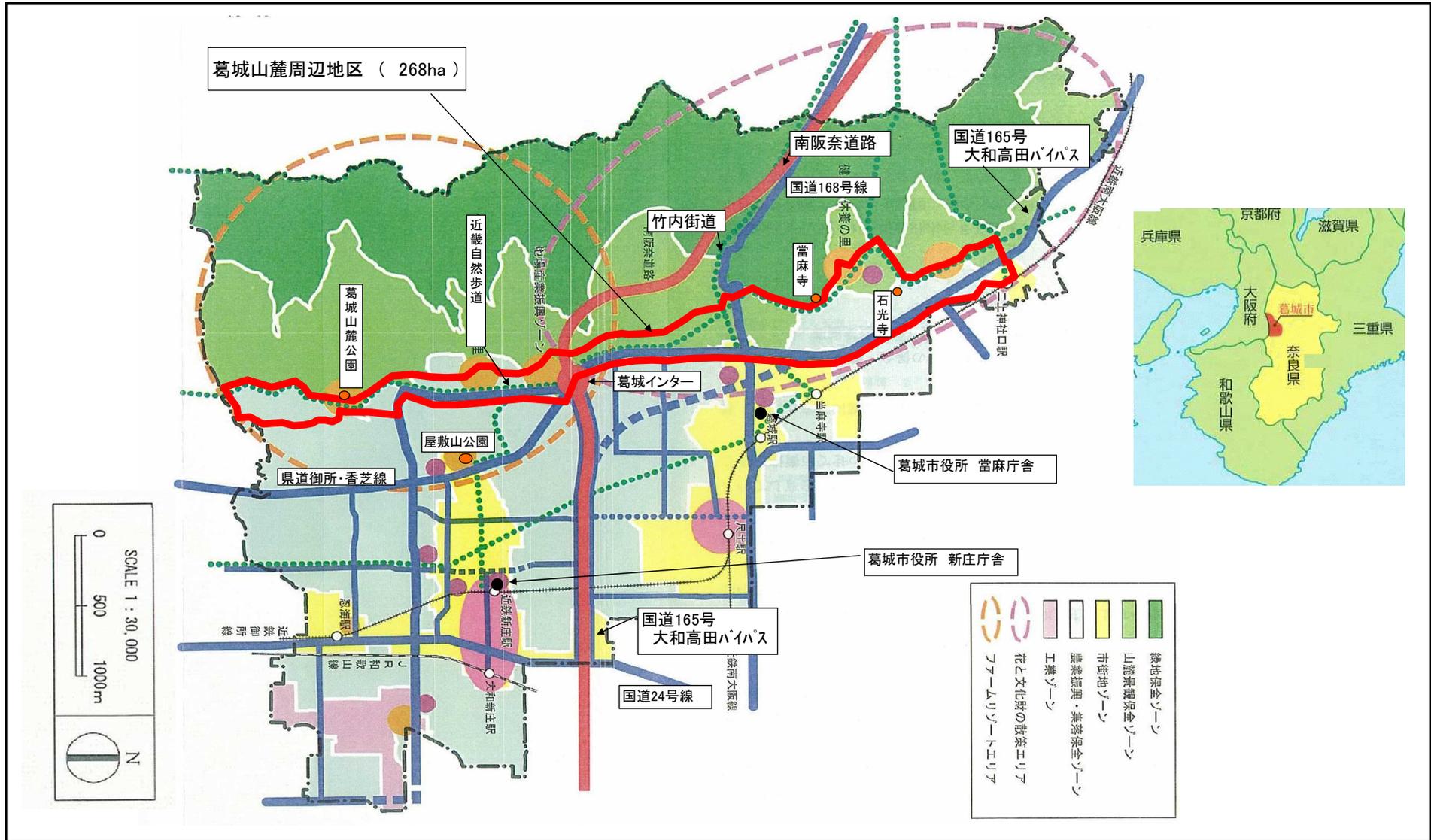
平成26年11月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(拠点づくりにぎわいの創出)</p> <p>・都市交流、市の魅力発信拠点の総合整備による賑わいの創出を図る。</p> <p>・地域活性化の拠点となる道の駅の整備により、賑わいの創出を図る。</p> <p>・豊かな自然と景観、観光資源の連携と施設整備による交流の促進、観光・産業の活性化を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業/観光交流センター)</p> <p>高次都市施設(基幹事業/まちおこしセンター)</p> <p>高次都市施設(基幹事業/地域交流センター)</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業/道の駅交流広場)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/農産品直売所・酪農製品販売所)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/チャレンジショップ)</p> <p>道路付属施設整備(関連事業/道の駅)</p> <p>吸収源対策公園緑地整備事業(関連事業/街区公園1箇所)</p>
<p>・整備方針2(交通機能の連携強化・利便性の向上)</p> <p>・市の玄関口となる二上神社口駅前の交通環境の整備により、観光客を含めた駅利用者の快適かつ利便性の向上を図る。</p> <p>・地域の情報発信となる道の駅施設整備とともに交流広場等の整備により、地域また道路利用者の快適かつ利便性の向上を図る。</p>	<p>道路(基幹事業/近鉄二上神社口駅前改良)</p> <p>道路(基幹事業/道の駅交流広場管理道路整備事業)</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業/道の駅交流広場)</p> <p>道路付属施設整備(関連事業/道の駅)</p> <p>道路(関連事業/市道南阪奈側道一号線改良事業)</p> <p>道路(関連事業/市道中戸五号線改良事業)</p>
<p>・整備方針3(周遊環境の整備による交流の促進)</p> <p>・整備された道の駅と観光拠点地なる二上ふるさと公園・當麻の家(道の駅)、石光寺、當麻寺、竹内街道、屋敷山公園、葛城山麓公園を結ぶ散策周遊環境の整備により、恵まれたれた自然環境を活かした都市と農村の交流を図る。</p> <p>・農業をはじめ商工関係の活動の拠点となる施設において、各団体連携のもと、イベントや集会などの交流活動を展開する。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業/観光交流センター)</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業/散策道道標の整備)</p> <p>道路付属施設整備(関連事業/道の駅)</p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>・葛城市の當麻寺、石光寺、二上山、相撲館、日本最古の官道である竹内街道、屋敷山公園、葛城山麓公園といった観光の主軸となる地域資源を連携・融合させ地域の活性化に活かすために、平成22年度には、来訪者へのアンケート調査を行い、観光ニーズの把握と各観光施設へのヒアリングによる現状把握を行い、平成23年度には社会実験として観光施設連携のもと、周遊観光モデルルートにおいて、スタンプラリー、観光案内サービス等実施のトレッキングを行い、参加者へのアンケート調査、効果検証を計画している。また、スマートフォンを利用したARナビとして、観光案内にも取り組んでいるところである。</p> <p>本事業計画完了年には、来訪者アンケートを拠点施設となる道の駅をはじめ市内各観光施設において行い、アンケートの結果を踏まえ地域の情報を積極的に発信し、イベント等の開催により、観光・交流の拠点の充実を目指す。</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>かつらぎさんろくしゅうへんちく かつらぎし 葛城山麓周辺地区(奈良県葛城市)</p>	<p>面積 268 ha</p>	<p>区域 大字加守、大字新在家、大字築野、大字今在家、大字當麻、大字竹内、大字兵家、大字太田、大字中戸、大字寺口、大字南藤井、大字平岡、大字笛吹、大字山口、大字梅室の各一部</p>
--	------------------	---



葛城山麓周辺地区(奈良県葛城市) 整備方針概要図

目標	産業基盤の形成と地域連携強化	代表的な指標	市域における道の駅利用者数 (うち新規道の駅利用者数) (人/日)	910 (0)	(22年度)	→	3,000 (2,000)	(28年度)
			観光客数 (人/年)	613,000	(21年度)	→	650,000	(28年度)

